

感性表現による女性の体の美しさの評価

1 J - 3

前川 佳徳 熊谷 聡子 齊藤 文昭
 大阪産業大学 工学部 情報システム工学科

1. はじめに

本研究のねらいは、かたちの美しさの評価についての検討を、女性の体、特に本報ではバストを例にとって試み、その情報処理システム構築に関して考察を加えることである。女性の体（バスト）の美しさの評価において、「美しい」というのは感性表現であり、検討すべき点としては、まず人によって「美しさ」の評価が一致しているのかということがあり、一致しているならば、その具体的なかたちはどう示されるのかということが挙げられる。また、「美しさ」には他の感性表現による評価、例えば「ふっくら」「可愛い」等があり、それらとかたちとの関係も明らかにしなければならない。

2. バストの美しさの評価

美しいバストのかたちということに共通の評価があるかということの検討をまず行うために、1115人の女性のバストのかたちから、下着メーカーの女性研究員（複数）が美しいかたちと美しくないかたちを11例選び出し、その評価内容について考察を行った。ついで、選ばれた11例の写真を大学生50人に提示し、順位づけと共に、美しいとして選んだ理由、美しくないとして選んだ理由について記述してもらった。以上の結果から、バストの美しさの評価には、多くの人の間で十分一致した見解のあることが見出された。また、評価の内容については、以下の3点にまとめられた。

(1) 身体全体での位置のバランス→バストの位置も含め、美しい体のバランスというものが、共通評価として決定し得る（図1参照）。

(2) 大きさのバランス→大きからず、小さからずが良い。

(3) バスト自身のかたち→おわん形に近いものが良いとされる。

(1)については、「垂れていない」「脇流れしていない」という表現で示され、ブラジャーによるバストの補整の主たる目的である「寄せて上げる」ということと一致する。また、この評価を情報処理として扱うには、理想のトルソ・バランスとの差を求めればよいので、対象の女性の体の形状測定データから、主要な位置情報を得れば簡単に行える。(2)についても、定量的表現であり、情報処理は容易である。問題は(3)であり、この点の評価については(2)の内容も含めて、異なった感性表現で示されることが多い。このような場合の、その評価表現とかたちとの関係について、次に検討を行った。

図1は理想的トルソバランスの例を示している。左側の図は女性の上半身（トルソ）の輪郭を示し、右側の図はそれを幾何学的にモデル化したものである。左側の図には、肩幅を⑦1.3、胸囲を⑧1、胸の中心から腰までの距離を⑨1と示している。右側の図には、肩幅を④1.6、胸の中心から腰までの距離を⑥0.8と示している。また、右側の図には、胸の中心から腰までの距離を⑤1と示している。これらの数値は、理想的なトルソバランスを示している。

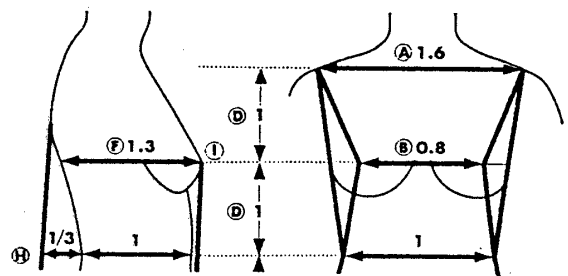


図1 理想的トルソバランスの例

3. 感性表現による評価とかたちの関係

美しいバストのかたちとして選んだ理由として、「垂れていない」とか「おわん形である」とかいった定量的表現以外に、「張りがある」とか「ふっくらしている」とか、感性表現で示される場合がある。また、ブラジャーの広告における表現などを参考にしてみると、「美しい」という内容が、さらに異なっていくつかの表現に分かれることがわかる。その中の代表的な感性表現を6つ選び出すと、「張りがある」「ふっくら」「可愛い」「セクシー」「ナチュラル」「上品」が挙げられる。

そこで、これらの感性表現が意味する内容を調べるために、ルールに従って作成した単純なバスト形状を被験者に提示し、上記表現に対応するかたちを選び出してもらった。被験者に提示したバスト形状の例を図2に示す。それぞれ、右上の基本形状に対し、左側へは脇流れをさせ、下側には垂れさせ、それらを組み合わせることで規則的に形状を作成していった。

"Information Processing for Evaluation of Shape of Women's Body by Impressions" Yoshinori MAEKAWA, Satoko KUMAGAI, Fumiaki SAITO:

Osaka Sangyo University

3-1-1 Nakagaito, Daito-city, Osaka, 574 Japan

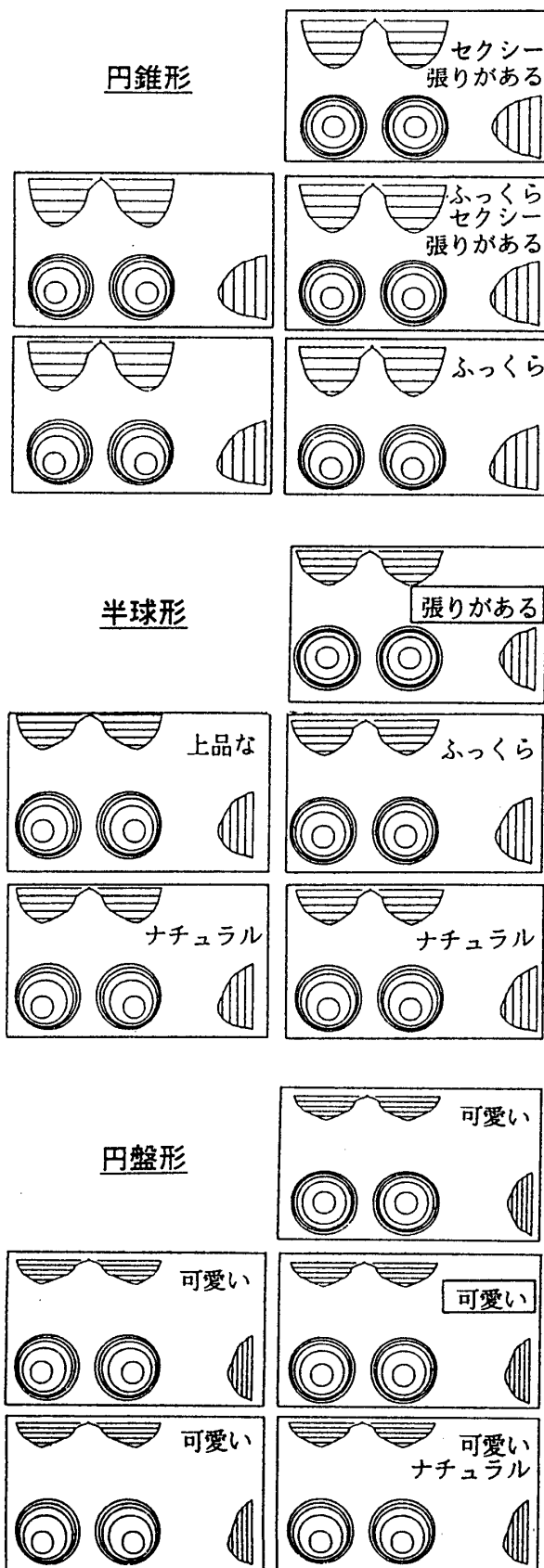


図2 感性表現とバストのかたちとの関係の例

実際に被験者に提示したものは、図2に示すものよりさらに左側、下側に位置する形状のものも含めた。また、円錐形、半球形、円盤形としているのは、大きさの違いでもある。これ以外に、楕円形のものも提示した。

図中の各形状に書き込んである感性表現は、被験者の半数以上がそのかたちに対して選択した評価表現である。また、□で囲むものは、ほぼ全員が選択した評価表現である。これらより、各表現とかたちとの関係がつけられることになる。

4. バストの美しさの評価と情報処理について

美しいバストのかたちには共通の評価が存在し、「美しい」という感性表現にもかかわらず、主要な評価点は2.で示したように定量的に取り扱え、情報処理の可能なことが明らかになった。また、3.で示したように、「美しさ」の異なる評価表現である「張りがある」「セクシー」「ふっくら」「可愛い」「ナチュラル」「上品」についても、かたちとの関係をつけられることが確認できた。これらの感性表現による評価の情報処理については、例えば図3の左のような、ある女性のバストの測定形状が与えられると、それを図の右に示すような等高線形状に変換し、各等高線断面の形状と中心位置のズレの状態から、図2のようなバスト形状マップのどこに対応づけられるかをコンピュータ処理すると、そのかたちの感性表現による評価を示せることになる。



図3 バストの測定形状とその等高線図表示

5. おわりに

バストのかたちを例にとって、感性表現とかたちとの関連づけを検討した結果、4.で示した方法は有用であり、それによって情報処理が可能であることが確認できた。